

学校教育情報化推進について

2025.1.28

令和6年度第3回仙台市GIGAスクール推進協議会



仙台市教育委員会

学校教育情報化推進について

1.「STEAM Lab」実証研究について

2. GIGAコミュニティーサポートについて

1.「STEAM Lab」実証研究について

(1)「STEAM Lab」実証研究概要

①目的

学校でのSTEAM教育等の教科等横断的な学習の推進を目的として、ICT関連機器等の学習環境の整備を通して学校におけるICT活用の有効性を検証する

②実施期間

令和5～6年度(2年間)

③研究機関

宮城教育大学、ダイワボウ情報システム株式会社
仙台市教育委員会(教育センター・教育指導課)
中山中学校(実践校)、川平小学校(実践校)

④主なICT関連機器研究機関

高性能PC/レーザーカッター/3Dプリンタ/
2画面プロジェクター/VRゴーグル/デジタルミシン

1.「STEAM Lab」実証研究について

(2) R6 中山中学校の取組について

地域連携事業としての取組

中山中学校となかやま商店街の地域連携を通して商店街の活性化を図ることを目的とした取組

最優秀に選ばれたCM

<https://www.youtube.com/watch?v=YesBJAq-1IU>

➡ 取材した商店街22店舗のCMコンテスト開催



商店街との試写会

4

1.「STEAM Lab」実証研究について

(3) R6 川平小学校の取組について

6学年「会津の魅力を発信しよう」(総合的な学習の時間)



活動紹介で2画面プロジェクターを活用



1.「STEAM Lab」実証研究について

(4)ICT関連機器等の環境整備を通じた学校教育における有効性

ICT関連機器	活用実績	分析結果	有効性
高性能PC (各校21台)	動画編集 STEAM Labの機器に関するデータ作成 プログラミング学習	STEAM Labの機器に関するデータ作成以外にも、授業で Chromebook と併用しながら共同作業することに適している	◎
レーザーカッター (各校1台)	学習の成果物の作成 学校行事に関する製作物 部活動での製作活動	機器の動作性、操作性において非常に時間がかかり、成果物を作成するのに時間を要する	○
3Dプリンター (各校5台)	学習の成果物の作成 学校行事に関する製作物 部活動での製作活動	機器の動作性、操作性において非常に時間がかかり、成果物を作成するのに時間を要する	○
2画面 プロジェクター	授業におけるプレゼンテーション 児童会行事での自主製作映画の上映 学習成果発表の報告会	発表やプレゼンテーション等、表現活動を行う上で有効に活用できる	◎
VRゴーグル (各校5台)	なし	機器の設定に課題がある。また、使用年齢の関係で小学生は利用できない。活用できたとしても台数に課題がある。	△
デジタルミシン (各校1台)	エプロンのネーム製作	授業の成果物を作成するための活用は、表現の可能性を大幅に広げるものであるが、機器の動作性、操作性において時間がかかる。	○
机・椅子等の環境設備	学習における話し合い活動	STEAM Lab内の机や椅子を自由にレイアウトして活用することは、多くの教育活動で有効に活用できる。	◎

1.「STEAM Lab」実証研究について

(5) 今後(R7年度移行)の方向性

「STEAM Lab」実証研究の方向性
(中山中学校・川平小学校)

R5	R6	R7	R8
6月「STEAM Lab」 実証研究開始 ・機器操作研修 ・校内研修 授業実践 2月 実施報告	4月 STEAM教育・機器操 作研修実施 8月 STEAM教育 (ダイワボウ) 授業実践 2月 実施報告 ダイワボウとの 実証研究終了 (STEAM Lab機器のサポート 終了)	【各学校で実践を継続】 ● 教科横断的な学習の授業、学校行事を中心に有効性が高かったICT機を授業で活用する。 ● 将来的なICT機器整備の可能性を検証する。	

学校教育情報化推進について

1.「STEAM Lab」実証研究について

2. GIGAコミュニティーサポートについて

2. GIGAコミュニティーサポートについて

GIGAコミュニティーサポート

```
graph TD; A[GIGAコミュニティーサポート] --> B[「GIGAラボ」  
チャットを活用した学びあい]; A --> C[ICTカフェ「ぴったん」  
Gメールを活用した相談窓口];
```

「GIGAラボ」
チャットを活用した学びあい

チャットに登録した教員同士が互いに相談やアドバイスをを行っている。

ICTカフェ「ぴったん」
Gメールを活用した相談窓口

教員の誰でも、授業（ICT活用）の相談をGメールで問合せることができる。問合せの回答は、教育委員会でやっている。

2. GIGAコミュニティサポートについて

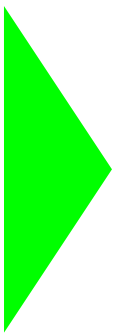
(1) チャットを活用した学びあい「GIGAラボ」

Googleチャットを活用して、教員同士が相談・助言しながら、仙台市立学校で取り組めるICT教育に関する好事例創出や展開を図るコミュニティづくりを推進する。

(2) 「GIGAラボ」の流れ

① 質問をチャットに投稿

子供たちの学習成果をどのように整理していますか？



② 機器・ソフトの使い方の意見交換

ロイロノートの提出箱を使うと一人一人の学習成果がきれいにまとめられますよ。

ノートを日付で使い分けすると上手に整理できます。

(3) 目標

	R7年1月時点	R6年度目標値
登録者数 	61名※	50名
取り上げる事例数	8例	10例

※内訳
小44名、中16名
特1名

2. GIGAコミュニティサポートについて

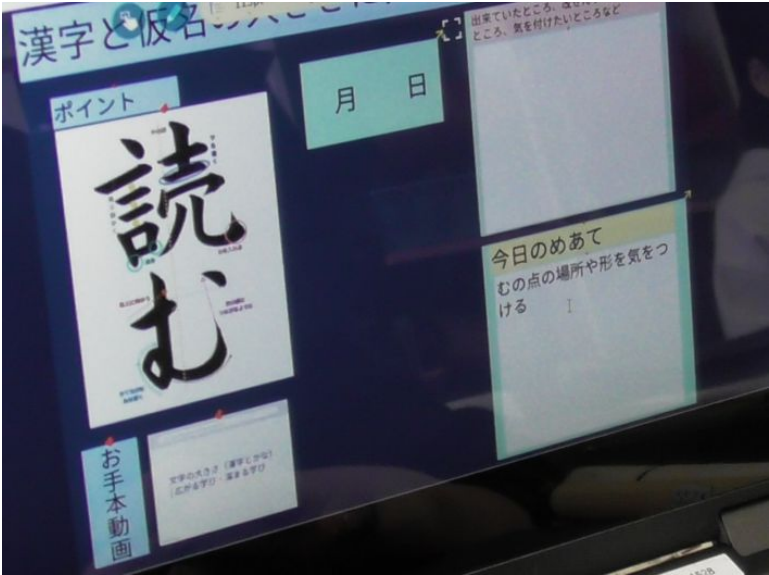
(4) GIGAラボの様子

話題	ロイロノートの共有機能の効果的な使い方を知りたい
実践例	○研究授業の事後検討会で多くの意見を集約するのに活用 先生方へ 授業を参観し、視点に基づいて ☆成果→ピンク ☆課題→水色 のテキストに書き込んでください (最後に自分の名前も忘れずに) 事後検討会 時間 15:50~ 場所 調べ学習室 持ち物 クロームブック グループごとにお座りください <本日の予定> 15:50 開会・校長先生から 15:55 自習 15:55~16:25 グループによる授業検討 16:25~16:35 分科会の報告・共有 (グループ代表1名) 16:35 授業者から 16:40 閉会 自分の学年の隣にあるYチャートに書き込んでください 1年・5年 2年・6年 3年・7年 4年・個

○年度末反省会で各学年の話し合いに活用
リアルタイムで様々な意見を共有することができる

2. GIGAコミュニティサポートについて

GIGAラボ

話題	児童生徒が書き込んだロイロノートのワークシートをきれいに整理したい
実践例	○「提出箱」を使って日付ごとに分かりやすく整理   左のようなワークシート同じ提出箱に入れ続けると右のように整理できる。 児童生徒はいつでも学習を以前学習した内容を振り返ることができる。

2. GIGAコミュニティーサポートについて

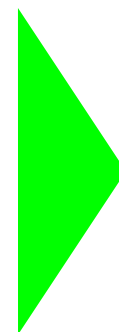
(1) Gメールを活用した相談窓口ICTカフェ「ぴったん」

Gメールを活用し、いつでも授業（ICT活用）について相談できる窓口を設置して、1人1台端末の活用を推進する。

(2) ICTカフェ「ぴったん」の流れ

①Gメールで質問を受付

プログラミング教材にはどのような物がありますか？



②助言により実践を促す

アーテックロボやMESH、scratchなどがあります！

(3) 目標

	R7年1月時点	R6年度目標値
メール相談件数	5件	10件

2. GIGAコミュニティーサポートについて

ICTカフェ「ぴったん」

質問者	質問内容	回答内容
小学校教諭	意見交流の際に使用できるアプリケーションや機能を知りたい。	ロイロノートの「共有ノート」 ドキュメント等の「共有設定」
小学校教諭	Figjamを使うときの注意点を知りたい。	データの保存先の確認 児童生徒に使用させるときの注意点の確認
小学校教諭	学校行事の撮影と動画配信について情報管理指針に抵触するか知りたい。	保護者同意が必要であることの確認 撮影したものについてはご家庭で楽しむことが前提であることの確認
小学校教諭	プログラミング教材について知りたい。	scratch、アーテックロボ等の「紹介
中学校教諭	アプリケーションを新たに導入するときの注意点を知りたい。	情報管理委員会でアプリの検討をすること 保護者に使用目的等を十分に説明すること

2. GIGAコミュニティーサポートについて

事業名	成果	課題	改善策
GIGAラボ	● ロイロノートなど、本市の環境に基づいたICT活用に関する意見交換により、各校の実践に生かしてもらうことができた	● さらに多くの教員に参加してもらうよう事業展開が必要だった ● 多様な意見が出る話題設定や進んで回答する人材の育成が必要であった	● 研修の際に参加を促すとともに、参加者にも声掛けをお願いする ● テーマを細かく設定するとともに、話し合いの中心になれそうな人材を配置する
ICTカフェ「ぴったん」	● 小さな疑問に答えることで、更なるICT活用につなげることができた	● 学校の課題解決につながる質問が少なかった	● 質問できる内容を精査し、学校の課題解決につながる内容にする